

## 平成29年度京都府一般会計・特別会計決算について

## 1 平成29年度一般会計決算額

## ～一般会計決算の状況～

(単位:百万円・%)

	平成29年度	平成28年度	増減額	対前年度比
歳入総額 A	921,723	942,845	△ 21,122	97.8
歳出総額 B	918,507	938,245	△ 19,738	97.9
形式収支 C=A-B	3,216	4,600	△ 1,384	69.9
翌年度へ繰り越すべき財源 D	2,458	3,910	△ 1,452	62.9
実質収支 E=C-D	758	690	68	109.9
前年度実質収支 F	690	683	7	101.0
単年度収支 E-F	68	7	61	971.4

## ～決算収支の特徴～

- ◆ 景気の回復基調を受け府税収入が増加したものの、社会保障関係経費は引き続き増加傾向にあり、厳しい財政運営が続く
- ◆ 府費負担教職員制度の見直し（京都市への移管）に伴い、歳入・歳出とも前年度から減、制度見直しの影響は歳入・歳出とも300億円程度であり、その影響を除くと、実質的には歳入・歳出とも前年度から増

<歳入> 9,217億円 (対前年度比 211億円減)

- 府税（地方消費税除く）、地方譲与税の増 約128億円
- 清算基準の見直し等に伴う地方消費税、地方消費税清算金の減 ▲約60億円

<歳出> 9,185億円 (対前年度比 197億円減)

- 社会保障関係経費の増 約35億円
- 北部産業創造センターやけいはんなプラザの整備等による商工費の増 約14億円
- 台風18号・21号災害からの復旧等に伴う災害復旧費の増 約10億円